



新保護者連絡配信システム

「さくら連絡網」の導入

教育部 教育指導課

# 1 導入の経緯

- ▶ 「さくら連絡網」の導入前に使用していたシステム（Faircast）は、配信数に制限があったため、緊急連絡に限定して使用
  - 学校現場からは、より使い勝手が良いシステムを望む声が高まる。
  - 令和4年度に新保護者連絡配信システム「さくら連絡網」を導入
    - ・登録率 : 98.5%（令和5年7月現在）
    - ・情報配信件数 : 26件（1校1月当たり）

## 2 「さくら連絡網」のここがすごい ①

- 配信数は無制限 → 日常的な活用が可能に
- プリント等のデータを直接、保護者へ配信  
→ 確実に保護者のお手元に
- 欠席、遅刻等の連絡にも対応  
→ 朝の忙しい時間帯の連絡に便利
- アンケート機能 → 簡単に保護者の意向を確認
- グループ設定機能 → 部活動等の活動単位でも配信可能

### 3 「さくら連絡網」のここがスゴい ②

➡ コスパがよい！

	年間費用	年間費用 (1校)	1月当たり (1校)	年間費用 (子ども1人)	1月当たり (子ども1人)
旧システム	5,280,000円	146,666円	12,222円	420円	35円
さくら連絡網 (初年度)	2,398,000円	66,611円	5,550円	190円	16円
<b>さくら連絡網 (2年目~)</b>	<b>1,623,600円</b>	<b>45,083円</b>	<b>3,756円</b>	<b>129円</b>	<b>11円</b>

## 4 保護者、教職員の声

- 保護者からは . . .
  - ・ システムで欠席などの連絡ができて便利
  - ・ 学校からの連絡が確実に届くので安心
- 教職員からは . . .
  - ・ 朝の欠席等の電話対応が減った
  - ・ 保護者に情報を確実に伝えられる
  - ・ クラス別や部活動単位での連絡ができて便利
  - ・ 紙媒体での配付物が減った

## 5 行政情報の配信

- 本システム本稼働時から行政情報の配信も開始
  - ・ 児童生徒の保護者に直接情報を届けられるため、HPなど単体よりも周知の効果が期待できる
  - ・ 運用開始から現時点までで、**25件を配信**
- 運用上の配慮
  - ・ 本来は、保護者と学校との円滑な連絡のために導入
    - 学校からの情報が行政の情報に紛れないよう配慮
  - ・ 現在は、原則として、**毎月第2金曜日配信**に固定

# 参考 『せかおだ』 に登場

